

目標の柱	1	恵まれた自然環境と調和した生活空間の創造
基本目標(政策)	1-2	居住環境の整備・充実を図ります
基本計画(施策)	1-2-1	・安全で安心な道路の整備促進

	課	
主管課・係	建設課	土木係
関係課・係	各総合支所振興課	農林建設係
	建設課	管理係

**【施策の目的と取組・現状分析】**

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	<p>①幹線道路の整備及び生活道路の維持管理が行われ、町民の利便性が図られる。</p>																																								
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>①町道舗装率の向上。</p>																																								
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>令和元年度</th> <th colspan="2">令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 町道の舗装率</td> <td>%</td> <td>46.4</td> <td>※46.5</td> <td>46.5</td> <td>46.6</td> <td>47.0</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値	A 町道の舗装率	%	46.4	※46.5	46.5	46.6	47.0	B							C							D						
	単位			令和元年度	令和2年度		令和3年度	令和4年度																																	
		実績値	目標値	実績値	目標値	目標値																																			
A 町道の舗装率	%	46.4	※46.5	46.5	46.6	47.0																																			
B																																									
C																																									
D																																									
<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？</p>	<p>5 令和3年度の目標値達成の見込みと方向付け</p>																																								
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A ③ ほぼ目標値どおり</td> <td>予算確保と地域の合意形成が図られたため。</td> <td>② このままで達成可能</td> <td>予算確保と地域の合意形成が図られており、災害等の影響もなく施工が可能であること。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A ③ ほぼ目標値どおり	予算確保と地域の合意形成が図られたため。	② このままで達成可能	予算確保と地域の合意形成が図られており、災害等の影響もなく施工が可能であること。	B				C				D																								
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																						
A ③ ほぼ目標値どおり	予算確保と地域の合意形成が図られたため。	② このままで達成可能	予算確保と地域の合意形成が図られており、災害等の影響もなく施工が可能であること。																																						
B																																									
C																																									
D																																									
<p>6 施策の目的に対して、今まで実施してきたことはなんですか？</p>	<p>各地域の要望に基づき、状況の把握に努めた。</p>																																								
<p>7 町民等の外部意見を聴取する仕組みと反映状況を記載してください。</p>	<p style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 有      <input type="checkbox"/> 無</p> <p>各地域の区長などと共通認識を持ちながら、事業実施に向けた現状の把握と課題等について整理し、事業の進捗を図ることができた。</p>																																								

**【施策の振り返り】**

<p>8 「2 成果目標」に対する有効性(成果が上がった点・問題点)</p>	<p>《成果》</p> <p>地域の要望を受け、関係者の承諾を得られた箇所について整備することができた。</p> <p>《課題》</p> <p>耐用年数を過ぎた舗装修繕が課題となっている。</p>
<p>9 本施策の類似性</p>	<p style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 有      <input checked="" type="checkbox"/> 無</p>
<p>10 本施策の効率性</p>	<p>舗装率の向上と合わせて、計画的な舗装修繕(メンテナンス)を進めることが、より効率性を高める。</p>

**【結論として・・・(施策の振り返りも踏まえて)】**

<p>11 自己評価や外部意見を踏まえた施策全体の今後の方向性</p>	<p>・今後は、舗装率の向上と合わせて、舗装修繕計画に基づき、計画的・効率的な舗装修繕も進めていく。 ・国の施策がインフラ老朽化対策などを支援する防災・安全対策にシフトしている部分があることから、必要性を見極めながら新規整備や維持管理を図る。</p>
-------------------------------------	---

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和3年度新規事業 に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)			
			事業費(千円)			
			令和元年度決算額	令和2年度決算額	令和3年度予算額	令和4年度予算額
01	社会資本整備総合交付金事業(町道整備)	建設課	目的	町道施設の改良や修繕により、安全で機能的な道路の利用を図るため。		
			概要	町道大新田1号線外2路線について、改良工事等を実施した。		
			成果	道路改良及び修繕等により安全で機能的な利用が図られた。		
		土木係	問題	舗装修繕の対応が遅れている。		
			対策	①継続 既設路線の維持修繕に重点を置いていきたい。		
			事業費	276,663	184,896	251,530
02	道路メンテナンス事業(橋梁補修)	建設課	目的	極端な財政負担をなくすため、計画的な維持補修を行う。		
			概要	町道橋の補修事業等を実施した。		
			成果	計画的に維持補修を実施することで、財政負担の平準化が図れている。		
		土木係	問題	橋梁の劣化状況や災害復旧工事等により修繕計画に遅れが生じることも想定される。		
			対策	①継続 計画的な重量制限等の通行規制や橋梁の集約・廃止等を検討する。		
			事業費	276,663	109,745	104,782
03	単独道路橋梁維持事業	建設課	目的	町道施設の修繕により、安全な道路の利用を図るため。		
			概要	比較的小規模な町道施設の修繕事業実施。		
			成果	舗装等の修繕により、安全な通行の確保が図られた。		
		土木係	問題	道路施設の老朽化(緊急修繕の増加)、施工単価の上昇により修繕費用が増加している。		
			対策	①継続 道路パトロールにより大きな修繕になる前に維持補修を実施している。		
			事業費	26,440	32,515	25,700
04	各種同盟会活動	建設課	目的	安全で快適な道路整備を目指すため。		
			概要	町が関連する道路の期成同盟会に加盟し、国県等各種機関へ道路整備の重要性を訴え、整備促進を図るとともに、道路関連予算の確保に努める。		
			成果	期成同盟会の活動により事業に着手した路線、調査費が計上された路線が出てきている。		
		管理係	問題	要望活動全てが実を結ぶわけではなく、整備が進まない道路も存在する。		
			対策	①継続 沿線自治体との連携を強め、関係機関への働きかけを強化する。		
			事業費	1,064	922	1,086
05			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
06			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
07			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
08			目的			
			概要			
			成果			
			問題			
			対策			
			事業費			
事業費の合計(千円)			580,830	328,078	383,098	457,086